

W0. Introduction

W0.1

(W0.1) Give a general description of and introduction to your organization.

当社グループは、自動車用の手動変速装置関連事業および自動変速装置関連事業の製造販売を主な事業内容とし、さらにそれらの事業に係る各種サービス活動を展開しております。

W0.2

(W0.2) State the start and end date of the year for which you are reporting data.

| | Start date | End date |
|----------------|--------------|---------------|
| Reporting year | April 1 2019 | March 31 2020 |

W0.3

(W0.3) Select the countries/areas for which you will be supplying data.

- China
- Hungary
- India
- Indonesia
- Japan
- Malaysia
- Mexico
- Thailand
- United States of America
- Viet Nam

W0.4

(W0.4) Select the currency used for all financial information disclosed throughout your response.

- JPY

W0.5

(W0.5) Select the option that best describes the reporting boundary for companies, entities, or groups for which water impacts on your business are being reported.

- Companies, entities or groups over which financial control is exercised

W0.6

(W0.6) Within this boundary, are there any geographies, facilities, water aspects, or other exclusions from your disclosure?

- Yes

W0.6a

(W0.6a) Please report the exclusions.

| Exclusion | Please explain |
|-------------|---|
| 国内外 営業所17拠点 | 全水使用量に対して、見積もられる使用量が0.2%未満と極めて少ないため除外する |

W1. Current state

W1.1

(W1.1) Rate the importance (current and future) of water quality and water quantity to the success of your business.

| | Direct use importance rating | Indirect use importance rating | Please explain |
|--|------------------------------|--------------------------------|--|
| Sufficient amounts of good quality freshwater available for use | Vital | Vital | <直接利用> EXEDYグループでは原則的に大量の水を必要としない。主な用途は社員食堂やトイレ、手洗いなどで、良質な淡水を使用している。一部の冷却、部品洗浄などの製造工程において、良質な淡水を使用している。またグループ企業のうち、一社で製紙工程を持っており、工業用水として川から取水した大量の水を購入している。そのため、直接的な淡水の利用については必要不可欠と判断しました。 <間接利用> EXEDYグループの一次サプライヤーやさらに上流サプライヤーの多くにとっても、部品の洗浄工程や鉄などの素材を製造する際の冷却工程に十分な量の良質な淡水は重要です。そのため、直接的な淡水の利用については必要不可欠と判断しました。 |
| Sufficient amounts of recycled, brackish and/or produced water available for use | Neutral | Neutral | <直接利用> EXEDYグループは、リサイクル水、半塩水、随伴水をほとんど使用せず、ほぼ淡水を使用していますが、雨水や冷却に使用した水をトイレや植木への散水、屋根の冷却に活用しています。水を大量に使用する製紙工場ではBCMの観点からコスト増にはなりますが、RO膜を用いた再生システムを利用し、水の再利用を一部実験的に行っています。そのため、全体の割合が少ないこと、リサイクルを停止した際の影響が少ないことから中立と判断しました。 <間接利用> EXEDYグループの一次サプライヤーやさらに上流サプライヤーの多くにとっても、水の使用状況は当グループと類似していると理解しています。そこで、中立と判断しました。 |

W1.2

(W1.2) Across all your operations, what proportion of the following water aspects are regularly measured and monitored?

| | % of sites/facilities/operations | Please explain |
|--|----------------------------------|--|
| Water withdrawals – total volumes | 100% | すべての生産工場（全28社）で確認している。モニタリングの頻度は安全衛生環境活動指標管理要領に基づき毎月パフォーマンスデータを集計しています。量についてはメータ及び請求書ベースで確認 |
| Water withdrawals – volumes by source | 100% | すべての生産工場で確認している。モニタリングの頻度は安全衛生環境活動指標管理要領に基づき毎月パフォーマンスデータを集計しています。多くが上水（市水）である。川（1/28社）、地下水（5/28社）からの取水量についてはメータ及び請求書ベースで確認 |
| Entrained water associated with your metals & mining sector activities - total volumes [only metals and mining sector] | <Not Applicable> | <Not Applicable> |
| Produced water associated with your oil & gas sector activities - total volumes [only oil and gas sector] | <Not Applicable> | <Not Applicable> |
| Water withdrawals quality | 76-99 | 取水の水質確認が必要な拠点は、主に川と地下水からの取水である。第三者から購入した水（主に上水道）からの取水については原則水質確認は必要でない。例外となるインドやメキシコなどの一部の工場では石灰成分の除去や飲料用にRO膜を用いて不純物を除き提供したり、飲料用をボトル購入し、従業員に提供している。川、地下水からの取水については、飲料用、生産用と用途区分を分けて、濁度や、残留塩素量等目的に合わせて測定を行っている。頻度については項目と水の使用用途により異なる |
| Water discharges – total volumes | 76-99 | すべての生産工場で確認している。モニタリングの頻度は安全衛生環境活動指標管理要領に基づき毎月パフォーマンスデータを集計しています。量についてはメータで確認 |
| Water discharges – volumes by destination | 76-99 | すべての生産工場で確認している。モニタリングの頻度は安全衛生環境活動指標管理要領に基づき毎月パフォーマンスデータを集計しています。量についてはメータで確認 |
| Water discharges – volumes by treatment method | 76-99 | すべての生産工場で確認している。モニタリングの頻度は安全衛生環境活動指標管理要領に基づき毎月パフォーマンスデータを集計しています。量についてはメータで確認 |
| Water discharge quality – by standard effluent parameters | 76-99 | すべての生産工場で確認している。モニタリングの頻度は各工場の負荷に応じて測定(常時、1日1回、週1回、月1回等)を行っている。測定の結果は異常がない場合は年1回結果を集計しています。異常発生時は即時報告。測定項目は排水の種類・放流先によって異なる。例・工場排水（pH,BOD,SS,油分等/1回/日～2週間）・生活排水（同上、大腸菌数 毎月）・雨水(油膜の有無等 常時監視) |
| Water discharge quality – temperature | Not relevant | 当項目は当社に関連しません。その理由は、当社から排水される排水は常温であり、環境への温度による影響がほとんどないと考えられるためです。また、将来予測として、当社から排水される水の温度は常温であり、大きな変化はないと考えているため、今後も関連性はないと判断しています |
| Water consumption – total volume | 76-99 | 製品に水が含まれることがないため、クーリングタワーなど一部の蒸発する量・植木等への散水量・廃液として産業廃棄物として処理する量。モニタリングの頻度は月1回。 |
| Water recycled/reused | 76-99 | 北米など水ストレスの高い地域の取水量を削減するために排水リサイクルを進めています。設備導入による改善の効果を確認するためにリサイクル量の管理をしています。モニタリングの頻度は月1回。リサイクル量は排水処理場で処理した排水をRO膜を通し、工程で使用した水の量としています。計算方法はガイダンスと同様です。 |
| The provision of fully-functioning, safely managed WASH services to all workers | 100% | 当社は、清潔な水や衛生へのアクセスを基本的な人権として認識しており、すべての生産事業所においては、法の求めの如何に依らず、当社の全従業員に対しても全契約社員に対しても同様に、清潔な水や衛生を提供しています。清潔な水や衛生へのアクセスが全生産事業所において確保されているが、年1回訪問監査にて今後も確保されようかどうかについて定期的にモニタリング・評価しています。 |

W1.2b

(W1.2b) What are the total volumes of water withdrawn, discharged, and consumed across all your operations, and how do these volumes compare to the previous reporting year?

| | Volume (megaliters/year) | Comparison with previous reporting year | Please explain |
|-------------------|--------------------------|---|---|
| Total withdrawals | 2357.39 | Higher | 前年度比：8.37%増加・生産数増減に伴う変化・今後の変化：生産拠点増などといった大きな変化はない（除くCOVID-19に伴う生産減） |
| Total discharges | 2296.78 | Higher | 前年度比：7.24%増加・生産数増減に伴う変化・今後の変化：生産拠点増などといった大きな変化はない（除くCOVID-19に伴う生産減） |
| Total consumption | 60.38 | Higher | 前年度比：80.87%増加・計算方法の変更：中国、タイの拠点では排水/取水の割合を10%～20%とするよう行政からの指示があり、該当拠点は実測値から計算値へ切替したため・生産数増減に伴う変化・今後の変化：生産拠点増などといった大きな変化はない（除くCOVID-19に伴う生産減） |

W1.2d

(W1.2d) Indicate whether water is withdrawn from areas with water stress and provide the proportion.

| | Withdrawals are from areas with water stress | % withdrawn from areas with water stress | Comparison with previous reporting year | Identification tool | Please explain |
|-------|--|--|---|---------------------|---|
| Row 1 | Yes | 11-25 | Lower | WRI Aqueduct | 使用したツール：WRI Aqueduct 水ストレス地域の定義：2020/06/01時点での現時点での水ストレス「Baseline water stress」Midium以上とする。北米が追加された反面、日本の淀川流域が対象外とされたため、33%→19.15%となった。 |

W1.2h

(W1.2h) Provide total water withdrawal data by source.

| | Relevance | Volume (megaliters/year) | Comparison with previous reporting year | Please explain |
|--|--------------|--------------------------|---|--|
| Fresh surface water, including rainwater, water from wetlands, rivers, and lakes | Relevant | 1217.68 | Higher | 前年度比：24.08%増加・1社製紙工場で使用・生産数増減に伴う変化・当社の考える前年比較時の閾値 →-30%以上：はるかに少ない →-5%以上～-30%未満：少ない → ±5 & 未満 ほぼ同じ → 5%以上～30%未満：多い → 30%以上：はるかに多い |
| Brackish surface water/Seawater | Not relevant | <Not Applicable> | <Not Applicable> | 使用していない |
| Groundwater – renewable | Relevant | 232.94 | Higher | 前年度比：17.39%増加・5社で使用(インド、日本) 1社は製品の洗浄用 残りは生活水として利用・生産数増減に伴う変化・当社の考える前年比較時の閾値 →-30%以上：はるかに少ない →-5%以上～-30%未満：少ない → ±5 & 未満 ほぼ同じ → 5%以上～30%未満：多い → 30%以上：はるかに多い |
| Groundwater – non-renewable | Not relevant | <Not Applicable> | <Not Applicable> | 使用していない |
| Produced/Entrained water | Not relevant | <Not Applicable> | <Not Applicable> | 使用していない |
| Third party sources | Relevant | 906.77 | Lower | 前年度比：8.91%減少・上水(市水)と工水して供給 上水はおもに手洗い、トイレ等に 工水はおもに設備の冷却に利用される・生産数増減に伴う変化・当社の考える前年比較時の閾値 →-30%以上：はるかに少ない →-5%以上～-30%未満：少ない → ±5 & 未満 ほぼ同じ → 5%以上～30%未満：多い → 30%以上：はるかに多い |

W1.2i

(W1.2i) Provide total water discharge data by destination.

| | Relevance | Volume (megaliters/year) | Comparison with previous reporting year | Please explain |
|---------------------------------|--------------|--------------------------|---|---|
| Fresh surface water | Relevant | 1430.27 | Higher | 前年度比：19.36%増加・製紙工場を含む4社から排水・1社が下水道化したため、排水量は減っているが、生産数増減に伴う変化が大きく、トータル増となっている・当社の考える前年比較時の閾値 →-30%以上：はるかに少ない →-5%以上～-30%未満：少ない → ±5 & 未満 ほぼ同じ → 5%以上～30%未満：多い → 30%以上：はるかに多い |
| Brackish surface water/seawater | Not relevant | <Not Applicable> | <Not Applicable> | 使用していない |
| Groundwater | Relevant | 70.38 | Much lower | 前年度比：58.8%減少・5社から排水・インド、メキシコの拠点は排水処理後全量、植木へ散水・中国の1拠点は下水施設は備わっているが、水使用量削減 目的で排水処理後の水を 植木へ散水・当社の考える前年比較時の閾値 →-30%以上：はるかに少ない →-5%以上～-30%未満：少ない → ±5 & 未満 ほぼ同じ → 5%以上～30%未満：多い → 30%以上：はるかに多い |
| Third-party destinations | Relevant | 796.35 | About the same | 前年度比：3%増・主だった拠点から下水道へ排水・ごく少量で産廃として排水・当社の考える前年比較時の閾値 →-30%以上：はるかに少ない →-5%以上～-30%未満：少ない → ±5 & 未満 ほぼ同じ → 5%以上～30%未満：多い → 30%以上：はるかに多い |

W1.4

(W1.4) Do you engage with your value chain on water-related issues?

Yes, our customers or other value chain partners

W1.4c

(W1.4c) What is your organization's rationale and strategy for prioritizing engagements with customers or other partners in its value chain?

グリーン調達ガイドラインでは、事業活動における環境法令の順守や水を含む省資源対策が求められており、
当社のサプライヤーへの同等の要請と教育が求められている。
当社でもグリーン調達説明会を開催し、サプライヤーへの依頼や法順守、省資源活動の情報提供を通じて
削減に取り組んでいる。またCDPを通じた情報開示が求められている。

所要なお取引様グループ23グループのうち5グループに対して、CDPにてエネルギー、水、廃棄物等の使用量などの情報提供を実施している。

顧客数に対する割合は5/23である。成功の評価は期日までの回答率とする。CDPによる回答は昨年度期日までに回答済(100%)
環境等の情報開示については費用対効果が非常に見づらいものである。
顧客からの要求があるということは、当社にとってもよい外圧になり、情報収集の精度向上、情報開示の範囲拡大につながっている

W2. Business impacts

W2.1

(W2.1) Has your organization experienced any detrimental water-related impacts?

Yes

W2.1a

(W2.1a) Describe the water-related detrimental impacts experienced by your organization, your response, and the total financial impact.

Country/Area & River basin

| | |
|-------|------|
| Japan | Yodo |
|-------|------|

Type of impact driver & Primary impact driver

| | |
|----------|---------------------------|
| Physical | Inadequate infrastructure |
|----------|---------------------------|

Primary impact

Reduction or disruption in production capacity

Description of impact

2012年8月に集中豪雨により、本社工場(日本 大阪府寝屋川市)周辺に下水道の容量オーバーのため、内水氾濫し、膝上浸水した。次のような影響があった。幸いに夏季休暇で生産を停めていたため、生産への影響は少なかった。・生産設備、製品への影響・工場内の排水実施・排水完了までの一時的な操業停止

Primary response

Develop flood emergency plans

Total financial impact

44598000

Description of response

一次的な対応として、工場からの浸入した水の抜き取り、故障した設備の修理を実施。財務上の影響額は上記の実費である。恒久的な対応として、次の項目を実施・浸水対策品の設置(ウォーターゲート:簡易止水壁)・排水管の洗浄作業実施・敷地外部からの水流入対策

W2.2

(W2.2) In the reporting year, was your organization subject to any fines, enforcement orders, and/or other penalties for water-related regulatory violations?

No

W3. Procedures

W3.3

(W3.3) Does your organization undertake a water-related risk assessment?

Yes, water-related risks are assessed

W3.3a

(W3.3a) Select the options that best describe your procedures for identifying and assessing water-related risks.

Direct operations

Coverage

Full

Risk assessment procedure

Water risks are assessed in an environmental risk assessment

Frequency of assessment

Annually

How far into the future are risks considered?

1 to 3 years

Type of tools and methods used

Tools on the market

International methodologies

Tools and methods used

WRI Aqueduct

IPCC Climate Change Projections

Other, please specify (各拠点のハザードマップ)

Comment

Supply chain

Coverage

Partial

Risk assessment procedure

Water risks are assessed as a standalone issue

Frequency of assessment

Annually

How far into the future are risks considered?

1 to 3 years

Type of tools and methods used

Other

Tools and methods used

Internal company methods

External consultants

Other, please specify (各拠点のハザードマップ)

Comment

Other stages of the value chain

Coverage

None

Risk assessment procedure

<Not Applicable>

Frequency of assessment

<Not Applicable>

How far into the future are risks considered?

<Not Applicable>

Type of tools and methods used

<Not Applicable>

Tools and methods used

<Not Applicable>

Comment

W3.3b

(W3.3b) Which of the following contextual issues are considered in your organization's water-related risk assessments?

| | Relevance & inclusion | Please explain |
|---|------------------------------------|--|
| Water availability at a basin/catchment level | Relevant, always included | 当社グループでは、1拠点で水を用いて製紙を行っており一定の水量確保は必須である。また、数拠点上水道がなく、地下水をくみ上げて生産だけでなく生活用水とする拠点もある。評価にはaqueductを利用 2030/2040Water Stress |
| Water quality at a basin/catchment level | Relevant, always included | 主だった拠点は上水道もしくは工業用水を利用しているが、一部の拠点では生産に大量の水を要する拠点、上水道のない拠点があり、取水した水を浄化装置を用いpHや懸濁具合等を調整している。評価にはaqueductを利用 Untreated connected wastewater |
| Stakeholder conflicts concerning water resources at a basin/catchment level | Relevant, always included | 一部の拠点では・地下水を生活用水として利用する場合、・排水を排出する河川に漁業権がある場合など水の質の維持により注意を払わなければならないエリアがある。持続的な操業を行うためにも地域住民との関係は必ず評価している。(現時点で特記すべきに対立はなし) 評価は各拠点での苦情件数 |
| Implications of water on your key commodities/raw materials | Relevant, sometimes included | 当社の製品は鉄製品であり、主な工程はその加工と組み立てである。一部の水を使う拠点は、個別に評価している。当社のサプライチェーンの原材料の製鉄に於いては冷却に非常に多くの水を使用している。評価は社内ツール：社内基準（環境影響評価規程）に基づき当該項目を当社の受ける影響量をもとに評価 |
| Water-related regulatory frameworks | Relevant, always included | 国、地域、工業団地、地域住民との協定など、常に最新の情報を管理している 評価は社内ツール：社内基準（環境情報管理規程）に基づき当該情報を当社の受ける影響量をもとに評価 |
| Status of ecosystems and habitats | Relevant, always included | 主だった拠点での製造工の排水は原則産業廃棄物もしくは排水処理を通して下水道に放流しているが、一部の拠点では河川に放流している。漁業権のある河川や、ラムサール条約にて保護されている湿原近隣にあるため、近隣の状態の把握と排水管理・緊急事故の未然防止に力を入れている 評価方法は排水の自主管理値超過件数 |
| Access to fully-functioning, safely managed WASH services for all employees | Relevant, always included | 水の質及び量の確保でハイリスクな拠点としてインドの拠点があげられるが、敷地内に水飲み場を設置し、敷地内に浄化設備を導入することで、食堂、水洗のトイレを設置し、全従業員が適切に管理された衛生施設を利用できることを担保している。評価方法は監査員が訪問(年1回以上)し現地で確認 評価は監査報告 |
| Other contextual issues, please specify | Not relevant, explanation provided | 関連する項目は上記に含まれるため。将来的にも上記で回答できると考えており、関連性はない。 |

W3.3c

(W3.3c) Which of the following stakeholders are considered in your organization's water-related risk assessments?

| | Relevance & inclusion | Please explain |
|--|------------------------------------|---|
| Customers | Relevant, always included | ・グリーン調達による排水基準順守・省資源化の要求がある。→対応しないことにより、顧客を失う恐れがある・顧客のサプライチェーンに水害が生じる事で受注量が影響される |
| Employees | Relevant, always included | ・水害の際は通勤が困難になる・緊急時の生活用水の備蓄が必要 |
| Investors | Relevant, sometimes included | ・CDPやFTSEなど投資家が重要視する項目を順守しないことで株価の低下を招く |
| Local communities | Relevant, always included | ・近隣に漁業権を持つ河川がある・地下水を生活用水に使用する地域が近隣にある |
| NGOs | Relevant, sometimes included | ・生物多様性保護の活動として、拠点を有する近隣の河川美化活動、保護活動にNGOと共に活動を行っている |
| Other water users at a basin/catchment level | Relevant, sometimes included | 当社の製品サービスは鉄製品の加工、組み立てであり、他の水利用者を脅かすような大量の取水、大量の排水・有害な排水等はなく、該当する事例がないため(1拠点水を大量に使用する拠点があるが、この例外については、流域に十分な水があり、取水時の品質よりきれいに排水を行っている) |
| Regulators | Relevant, always included | 排水基準の順守のため(下水、雨水、河川放流、地下水) |
| River basin management authorities | Relevant, always included | 排水基準の順守のため(雨水、河川放流) |
| Statutory special interest groups at a local level | Relevant, always included | 一部の拠点で地下水を利用し、上水と比較し、安価な水を共有する会社を利用している |
| Suppliers | Relevant, always included | ・グリーン調達を通じて水の省資源、排水の法規制順守を依頼している。・水害等によるサプライチェーンの停止リスクがある |
| Water utilities at a local level | Relevant, always included | 一部の拠点では工業用水の使用量を極端に変更する際は事前に調整が必要な拠点がある |
| Other stakeholder, please specify | Not relevant, explanation provided | 当社が関連すると規定するステークホルダーは上記に含まれるため。今後も変更なしの予定 |

W3.3d

(W3.3d) Describe your organization's process for identifying, assessing, and responding to water-related risks within your direct operations and other stages of your value chain.

< 協力企業の直接影響(公害防止) >

- ・取引を行う際に、環境全般のアンケートを調達部門にて実施している。
- 一定の基準に満たない企業については直接訪問し、リスクの有無を検討している

< 協力企業の水リスク対応 >

- ・全協力企業に対し、BCMの一環として、2018年よりハザードマップをもとにリスク評価し、全サプライヤーへ調査票を配布
- ・洪水等に関する対策確認を実施。
 - 高リスクサプライヤーには浸水対策、もしくは対応できない場合には十分な在庫の確保を要請し、対応状況を定期的に確認
 - 地震と同様に、即座に情報が収集できる仕組みとして緊急事態の連絡システムを導入。

W4. Risks and opportunities

W4.1

(W4.1) Have you identified any inherent water-related risks with the potential to have a substantive financial or strategic impact on your business?

Yes, only within our direct operations

W4.1a

(W4.1a) How does your organization define substantive financial or strategic impact on your business?

- ・重大な財務上または戦略上の影響の定義

当社の考え方で、「安全・環境⇒品質⇒納期⇒コスト」という考え方がある。

この順番を最優先と考え、取組むことが最終的にもっともコストが下がるとの考え方である。

重大影響については一部定性的ではあるが、次のように定義している。

①人命にかかわる可能性があるもの

→重大災害※：ゼロ

※重大災害とは死亡、障害等級7級以上の災害とする

②当社の製品がその時代のニーズから適応しない可能性があるもの

(生産に法的制約が加わるなど)

→指標は①③④参照

③生産停滞/操業停止を引き起こす可能性があるもの

→操業停止日数：5日以上

④一定以上のコストを発生させる可能性があるもの

→コスト：1件 1億円以上の支出を伴う事項

その中で操業停止となるものとは次のようなケースを想定している

- ・洪水等による生産設備の損傷
- ・洪水等により操業停止となる
- ・顧客のサプライチェーン障害による受注の減少
- ・サプライチェーン障害による部品供給停止
- ・排水基準超過による当局による操業停止命令
- ・取水設備の故障等により操業に必要な十分な水が確保できない

実質的な変化の特定に使用する方法、測定基準、指標

- ・排水基準超過件数、排水の自主基準超過件数の有無
- ・上記の変化を示す変化量は0以上とする。

重大の定義は直接操業およびサプライチェーンに適用される

重要な影響の事例

- ・日本にある生産拠点の一つは洪水リスクがあり、人命にかかわり、操業停止リスクがあり、また浸水時には一定以上のコストを発生させる可能性があり、2018年に移転を決定、2020年度移転を完了する予定である。

当社のリスク管理プロセス

近年温暖化に伴う100年に一度等の洪水など災害が激化している。

当社の拠点の中にも過去に浸水した拠点があり、洪水対策が必要な拠点や移転を要する拠点が存在する。

このような物理的リスク・機会の基本情報は、複数のプロセスにより収集される

- ・BCM

拠点ごとのハザードマップ

協力企業アンケート

- ・ISO14001の最上位文書「環境管理規程（下記参照）」に従った手法。

（IPCC報告書 Aqueduct Water Risk等）

当社では特定したされたリスクの評価は、人命への影響、生産（操業）へ影響、財務上の支出（損害額、修理額）の規模に応じた

会議体（取締役会、経営会議、リスク管理委員会、BCM、EGC委員会等 注記：全ての会議メンバーは取締役を含む）にて、

それぞれの定めた規定を基に影響を評価している

短期、中期的な気候関連の物理的なりリスクと機会（例えば水害等のハザード情報）についてはBCPに基づき、影響の大きさを評価し、

経営会議B（取締役会に付議されるもの以外の重要な事項を審議・決定・報告する機関。社長、常勤取締役、執行役員及び常勤監査役をもって構成する）

のもと、中期経営計画「Evolution」を立案し、情報収集と評価、対応を実施している

- ・直接操業

→各製造拠点毎の気候変動リスクについては、ハザードマップ、周辺地域でのヒアリング等を元に

各拠点毎に情報を収集、評価を行う

→ ・拠点ごとのリスクに応じ対応：拠点の移転、設備の更新（止水壁、排水ポンプの設置、レイアウト変更等）、

緊急事態対応訓練の実施

・サプライヤー管理

→ 協力企業についてはアンケートにてリスク情報収集、評価を行い、
複数の製造拠点を持つ企業への転注、複数の企業へ発注するなどリスク対応を実施

中期、長期的な気候関連の物理的なリスクと機会は環境管理規程に従い、影響の大きさを評価し、EGC委員会（W6.2a参照）のもと、運用管理もしくは、環境マネジメントプログラム（EMP）を立案し、全社環境管理部門が主管となり情報収集と評価、対応を実施している

※※「環境管理規程」に基づくリスクと機会の管理※※

- ・情報収集：各拠点及びISO14001の全社事務局経由集められた情報は、全社環境統括責任者（環境担当取締役 W6.2a参照）に集約される。
定期更新 年1回。法改正やステークホルダーのニーズ更新時は逐次更新
- ・収集されたリスクや機会は基準に基づいて1次評価を行い、全社事務局と全社環境統括責任者と協議の上評価を行う。
- ・重要と判定したもの、過去に重要と判定したもので、判定を変更するものについてはEGC委員会（W6.2a参照）で報告を行う。
- ・重要と判定したものについては、各拠点で定めた目標管理もしくは運用管理に従い管理を行う。
- ・目標管理状況、運用管理状況は毎月の定例報告にて進捗管理を行う

W4.1b

(W4.1b) What is the total number of facilities exposed to water risks with the potential to have a substantive financial or strategic impact on your business, and what proportion of your company-wide facilities does this represent?

| | Total number of facilities exposed to water risk | % company-wide facilities this represents | Comment |
|-------|--|---|---------|
| Row 1 | 5 | 1-25 | |

W4.1c

(W4.1c) By river basin, what is the number and proportion of facilities exposed to water risks that could have a substantive financial or strategic impact on your business, and what is the potential business impact associated with those facilities?

Country/Area & River basin

| | |
|-------|------|
| Japan | Yodo |
|-------|------|

Number of facilities exposed to water risk

2

% company-wide facilities this represents

1-25

Production value for the metals & mining activities associated with these facilities

<Not Applicable>

% company's annual electricity generation that could be affected by these facilities

<Not Applicable>

% company's global oil & gas production volume that could be affected by these facilities

<Not Applicable>

% company's total global revenue that could be affected

41-50

Comment

淀川およびその支流の洪水による浸水

Country/Area & River basin

| | |
|-------|-----------------------------------|
| Japan | Other, please specify (安平川 (北海道)) |
|-------|-----------------------------------|

Number of facilities exposed to water risk

1

% company-wide facilities this represents

1-25

Production value for the metals & mining activities associated with these facilities

<Not Applicable>

% company's annual electricity generation that could be affected by these facilities

<Not Applicable>

% company's global oil & gas production volume that could be affected by these facilities

<Not Applicable>

% company's total global revenue that could be affected

11-20

Comment

該当拠点は水の豊富で大量の川を安価で取水できるエリアである。単位時間当たりの取水量が大きいため、取水が停止すると上水で補うことはできず 操業が止まるリスクがある。(過去川の取水システムのトラブルで事例があったが設備更新後 直近20年程度で事例無し) 現在リスク対応としてリサイクルシステムを2018年1月から稼働させ、約30%の水を再利用している。

Country/Area & River basin

| | |
|----------|---------------------------------------|
| Thailand | Other, please specify (Bang Pakong 川) |
|----------|---------------------------------------|

Number of facilities exposed to water risk

2

% company-wide facilities this represents

1-25

Production value for the metals & mining activities associated with these facilities

<Not Applicable>

% company's annual electricity generation that could be affected by these facilities

<Not Applicable>

% company's global oil & gas production volume that could be affected by these facilities

<Not Applicable>

% company's total global revenue that could be affected

11-20

Comment

チョンブリー地域の洪水による浸水

(W4.2) Provide details of identified risks in your direct operations with the potential to have a substantive financial or strategic impact on your business, and your response to those risks.

Country/Area & River basin

| | |
|-------|------|
| Japan | Yodo |
|-------|------|

Type of risk & Primary risk driver

| | |
|----------|----------|
| Physical | Flooding |
|----------|----------|

Primary potential impact

Reduced revenues from lower sales/output

Company-specific description

生産拠点Aは日本を代表する流域面積（全面積の3%）、流域人口(全国7位)をもつ一級河川の本流の中流域に位置している。河川整備計画によると人口の集中する下流の治水安全度を確保するために、上中流が氾濫していることが前提となっており、氾濫のおきる確率規模は20年に1度となっている。（戦後最大の洪水 昭和28年台風13号想定）さらに当該拠点は本流と支流に囲まれた中洲に位置しており、巨大豪雨等で河川が氾濫した場合には支流の樋門を閉じること、上流でのダムでの放流の可能性があるので知られている。（決壊を防ぐため、行政による排水ポンプ車で樋門越しに排水を本流に逃がす仕組みあり）

Timeframe

4-6 years

Magnitude of potential impact

High

Likelihood

Virtually certain

Are you able to provide a potential financial impact figure?

Yes, a single figure estimate

Potential financial impact figure (currency)

412398904.1

Potential financial impact figure - minimum (currency)

<Not Applicable>

Potential financial impact figure - maximum (currency)

<Not Applicable>

Explanation of financial impact

影響として、生産拠点の復興にかかる費用と、部品の共有が止まることにより、当社の生産が止まることの二つが挙げられる。生産拠点の復興にかかる費用については、情報公開ができないため、ここでは一部の部品がとまることにより当社の生産全体が止まる費用として算出する。2018年単体売上(1254.38億)×当該拠点の生産売上(24%)×操業停止期間(BCP目標:5日=5/365)

Primary response to risk

Use risk transfer instruments

Description of response

ハザードマップによるリスク評価の結果・洪水によって想定される浸水深 3 ~ 5 m (想定最大規模)・地形からわかる災害リスク:旧河道 このリスクに対応するためには、リスクの移転として、“生産拠点移転”を進めている。2018年より着手し2020年度移転完了予定である

Cost of response

501000000

Explanation of cost of response

拠点移転にかかる費用とする 2019年度の 連結設備投資費用:228億 生産拠点移転費用:5億(用地取得費用は固定資産のため除外)

Country/Area & River basin

| | |
|-------|-----------------------------------|
| Japan | Other, please specify (安平川 (北海道)) |
|-------|-----------------------------------|

Type of risk & Primary risk driver

| | |
|----------|--------------------------|
| Physical | Increased water scarcity |
|----------|--------------------------|

Primary potential impact

Reduction or disruption in production capacity

Company-specific description

当該拠点は水の豊富で大量の水を川から工業用水として安価で購入できるエリアである。単位時間あたりの取水量が大きいため、取水が停止すると上水で補うことができず、操業が止まるリスクがある。（過去、川の取水システムのトラブルで事故が発生したが、設備更新後直近20年程度では該当事例の再発はなし）

Timeframe

Unknown

Magnitude of potential impact

Medium-high

Likelihood

Unlikely

Are you able to provide a potential financial impact figure?

No, we do not have this figure

Potential financial impact figure (currency)

<Not Applicable>

Potential financial impact figure - minimum (currency)

<Not Applicable>

Potential financial impact figure - maximum (currency)

<Not Applicable>

Explanation of financial impact

設備を設置後20年間停止した事例がないこと。また取水のトラブルに備え製品在庫を2～3日分確保していることから、万が一水の供給が停止してもこの期間に復旧すれば工程に影響を及ぼさないことからゼロとする

Primary response to risk

Adopt water efficiency, water reuse, recycling and conservation practices

Description of response

現在リスク対応としてリサイクルシステムを2018年1月から稼働させ、約30%の水を再利用している。

Cost of response

23000000

Explanation of cost of response

設備投資額 約20百万円、運用費用額 3百万円/年

Country/Area & River basin

| | |
|----------|-------------------------------------|
| Thailand | Other, please specify (Bang Pakong) |
|----------|-------------------------------------|

Type of risk & Primary risk driver

| | |
|----------|----------|
| Physical | Flooding |
|----------|----------|

Primary potential impact

Supply chain disruption

Company-specific description

チョンブリー地域の洪水による浸水

Timeframe

Unknown

Magnitude of potential impact

Medium

Likelihood

Likely

Are you able to provide a potential financial impact figure?

Yes, a single figure estimate

Potential financial impact figure (currency)

334956824

Potential financial impact figure - minimum (currency)

<Not Applicable>

Potential financial impact figure - maximum (currency)

<Not Applicable>

Explanation of financial impact

工場浸水による生産停止の可能性がある。・顧客もしくは当社のサプライチェーンの分断により生産停止を余儀なくされる可能性がある 被害金額は1週間の操業停止として算出

Primary response to risk

Improve maintenance of infrastructure

Description of response

生産拠点分散(中国、インドなど)・浸水対策として、緊急対策計画、訓練の他に、次のインフラ整備を行っている・止水壁の設置・工場周辺に溝を掘り、排水ポンプを設置・生産棟の高上げを行い、生産設備を2F以上に設置

Cost of response

1812000

Explanation of cost of response

費用は一年間の緊急訓練に係わる人件費で算出

W4.2c

(W4.2c) Why does your organization not consider itself exposed to water risks in its value chain (beyond direct operations) with the potential to have a substantive financial or strategic impact?

| | Primary reason | Please explain |
|-------|------------------------|--|
| Row 1 | Evaluation in progress | ・自動車業界は部品数が多いため、自社のリスク対応を行っていても、当社もしくは顧客のサプライチェーンが破綻することで生産が滞るケースが実際に生じたこともある。・自社サプライチェーンについてはBCMの観点から2018年度より洪水に関するリスク評価を全サプライヤーに対し開始し準備を進めている。・国内サプライヤーについては2020年度に1次評価を完了予定 |

W4.3

(W4.3) Have you identified any water-related opportunities with the potential to have a substantive financial or strategic impact on your business?

Yes, we have identified opportunities, and some/all are being realized

W4.3a

(W4.3a) Provide details of opportunities currently being realized that could have a substantive financial or strategic impact on your business.

Type of opportunity

Markets

Primary water-related opportunity

Improved community relations

Company-specific description & strategy to realize opportunity

当社の本社のある寝屋川市は、市の名前に「川」がつく市であり、以前は汚いどぶ川で有名であったこの川の美化に市をあげて取り組んでいる。また、寝屋川市にも企業はたくさんあるものの、本社を寝屋川市に置き、税収の上位の企業となっている。会社方針「よき企業市民」を元に、川をキーワードとした保全活動、清掃活動への従業員の参加および金銭的なサポートを通じて、地域社会の評価を高め、企業価値の向上につとめることで企業価値を高める

Estimated timeframe for realization

More than 6 years

Magnitude of potential financial impact

Low

Are you able to provide a potential financial impact figure?

No, we do not have this figure

Potential financial impact figure (currency)

<Not Applicable>

Potential financial impact figure – minimum (currency)

<Not Applicable>

Potential financial impact figure – maximum (currency)

<Not Applicable>

Explanation of financial impact

W5. Facility-level water accounting

W5.1

(W5.1) For each facility referenced in W4.1c, provide coordinates, water accounting data, and a comparison with the previous reporting year.

Facility reference number

Facility 1

Facility name (optional)

DNX-T

Country/Area & River basin

| | |
|-------|-----------------------------------|
| Japan | Other, please specify (安平川 (北海道)) |
|-------|-----------------------------------|

Latitude

42.680448

Longitude

141.740104

Located in area with water stress

No

Primary power generation source for your electricity generation at this facility

<Not Applicable>

Oil & gas sector business division

<Not Applicable>

Total water withdrawals at this facility (megaliters/year)

1279.5

Comparison of total withdrawals with previous reporting year

Higher

Withdrawals from fresh surface water, including rainwater, water from wetlands, rivers and lakes

1217.68

Withdrawals from brackish surface water/seawater

0

Withdrawals from groundwater - renewable

26.49

Withdrawals from groundwater - non-renewable

0

Withdrawals from produced/entrained water

0

Withdrawals from third party sources

35.32

Total water discharges at this facility (megaliters/year)

1276.6

Comparison of total discharges with previous reporting year

Higher

Discharges to fresh surface water

1217.7

Discharges to brackish surface water/seawater

0

Discharges to groundwater

0

Discharges to third party destinations

58.9

Total water consumption at this facility (megaliters/year)

2.9

Comparison of total consumption with previous reporting year

About the same

Please explain

・位置座標について →近接する2工場の集合体である。 ・集約方法は会社単位（全2工場） ・座標は淡水の地表水を用いる工場の座標である。 ・水ストレス値の判断 Aqueductの2020/06/01時点での現時点での水ストレス「Baseline water stress」Midium以上とする ・当社の考える前年比較時の閾値 →-30%以上：はるかに少ない →-5%以上～-30%未満：少ない → ±5 & 未満 ほぼ同じ → 5%以上～30%未満：多い → 30%以上：はるかに多い ・水源：河川（工業団地から工業用水として購入） ・第三者の排水先：下水道 ・水の消費量 計算により取水量—排水量で算出

Facility reference number

Facility 2

Facility name (optional)

EXD-M

Country/Area & River basin

| | |
|-------|------|
| Japan | Yodo |
|-------|------|

Latitude

34.753941

Longitude

135.623821

Located in area with water stress

No

Primary power generation source for your electricity generation at this facility

<Not Applicable>

Oil & gas sector business division

<Not Applicable>

Total water withdrawals at this facility (megaliters/year)

54.11

Comparison of total withdrawals with previous reporting year

About the same

Withdrawals from fresh surface water, including rainwater, water from wetlands, rivers and lakes

0

Withdrawals from brackish surface water/seawater

0

Withdrawals from groundwater - renewable

0

Withdrawals from groundwater - non-renewable

0

Withdrawals from produced/entrained water

0

Withdrawals from third party sources

54.11

Total water discharges at this facility (megaliters/year)

54.11

Comparison of total discharges with previous reporting year

About the same

Discharges to fresh surface water

0

Discharges to brackish surface water/seawater

0

Discharges to groundwater

0

Discharges to third party destinations

54.11

Total water consumption at this facility (megaliters/year)

0

Comparison of total consumption with previous reporting year

About the same

Please explain

・位置座標について → 単一工場である ・水ストレス値の判断 Aqueductの2020/06/01時点での現時点での水ストレス「Baseline water stress」Midium以上とする ・当社の考える前年比較時の閾値 → -30%以上：はるかに少ない → -5%以上 ~ -30%未満：少ない → ±5%未満 ほぼ同じ → 5%以上 ~ 30%未満：多い → 30%以上：はるかに多い ・水源：市水、工水（地方自治体及びそのサプライヤーより購入） ・第三者の排水先：下水道 ・水の消費量 生産工程（冷却）と生活用水に使用 冷却に水を用いるが、ほぼ等量を排出しており、純粋な消費は飲料用のみのため、消費はほぼゼロと考える

Facility reference number

Facility 3

Facility name (optional)

EXK

Country/Area & River basin

| | |
|-------|------|
| Japan | Yodo |
|-------|------|

Latitude

34.737145

Longitude

135.82006

Located in area with water stress

No

Primary power generation source for your electricity generation at this facility

<Not Applicable>

Oil & gas sector business division

<Not Applicable>

Total water withdrawals at this facility (megaliters/year)

2.91

Comparison of total withdrawals with previous reporting year

About the same

Withdrawals from fresh surface water, including rainwater, water from wetlands, rivers and lakes

0

Withdrawals from brackish surface water/seawater

0

Withdrawals from groundwater - renewable

0

Withdrawals from groundwater - non-renewable

0

Withdrawals from produced/entrained water

0

Withdrawals from third party sources

2.91

Total water discharges at this facility (megaliters/year)

2.91

Comparison of total discharges with previous reporting year

About the same

Discharges to fresh surface water

2.91

Discharges to brackish surface water/seawater

0

Discharges to groundwater

0

Discharges to third party destinations

0

Total water consumption at this facility (megaliters/year)

0

Comparison of total consumption with previous reporting year

About the same

Please explain

・位置座標について → 単一工場である ・水ストレス値の判断 Aqueductの2020/06/01時点での現時点での水ストレス「Baseline water stress」Midium以上とする ・当社の考える前年比較時の閾値 → -30%以上：はるかに少ない → -5%以上 ~ -30%未満：少ない → ±5 & 未満 ほぼ同じ → 5%以上 ~ 30%未満：多い → 30%以上：はるかに多い ・水源：市水（地方自治体及びそのサプライヤーより購入） ・水の消費量 生活用水に使用 多くはトイレ、手洗い等でほぼ等量を排出しており、純粋な消費は飲料用のみのため、消費はほぼゼロと考える

Facility reference number

Facility 4

Facility name (optional)

EFM

Country/Area & River basin

| | |
|----------|-------------------------------------|
| Thailand | Other, please specify (Bang Pakong) |
|----------|-------------------------------------|

Latitude

13.428201

Longitude

101.030467

Located in area with water stress

No

Primary power generation source for your electricity generation at this facility

<Not Applicable>

Oil & gas sector business division

<Not Applicable>

Total water withdrawals at this facility (megaliters/year)

49.79

Comparison of total withdrawals with previous reporting year

About the same

Withdrawals from fresh surface water, including rainwater, water from wetlands, rivers and lakes

0

Withdrawals from brackish surface water/seawater

0

Withdrawals from groundwater - renewable

0

Withdrawals from groundwater - non-renewable

0

Withdrawals from produced/entrained water

0

Withdrawals from third party sources

49.79

Total water discharges at this facility (megaliters/year)

40.56

Comparison of total discharges with previous reporting year

About the same

Discharges to fresh surface water

0

Discharges to brackish surface water/seawater

0

Discharges to groundwater

0

Discharges to third party destinations

40.56

Total water consumption at this facility (megaliters/year)

9.23

Comparison of total consumption with previous reporting year

About the same

Please explain

・位置座標について → 近接する2工場の集合体である。 ・集約方法は会社単位（全2工場） ・座標は本社工場の座標である。 ・水ストレス値の判断 Aqueductの2020/06/01時点での現時点での水ストレス「Baseline water stress」 Midium以上とする ・当社の考える前年比較時の閾値 → -30%以上：はるかに少ない → -5%以上 ~ -30%未満：少ない → ±5%未満 ほぼ同じ → 5%以上 ~ 30%未満：多い → 30%以上：はるかに多い ・水源：市水、工水（地方自治体及びそのサプライヤーより購入） ・第三者の排水先：下水道 ・水の消費量 生産工程（冷却）と生活用水に使用 計算により取水量＝排水量で算出

Facility reference number

Facility 5

Facility name (optional)

EXT

Country/Area & River basin

| | |
|----------|-------------------------------------|
| Thailand | Other, please specify (Bang Pakong) |
|----------|-------------------------------------|

Latitude

13.356585

Longitude

101.007602

Located in area with water stress

No

Primary power generation source for your electricity generation at this facility

<Not Applicable>

Oil & gas sector business division

<Not Applicable>

Total water withdrawals at this facility (megaliters/year)

83.87

Comparison of total withdrawals with previous reporting year

About the same

Withdrawals from fresh surface water, including rainwater, water from wetlands, rivers and lakes

0

Withdrawals from brackish surface water/seawater

0

Withdrawals from groundwater - renewable

0

Withdrawals from groundwater - non-renewable

0

Withdrawals from produced/entrained water

0

Withdrawals from third party sources

83.87

Total water discharges at this facility (megaliters/year)

67.09

Comparison of total discharges with previous reporting year

About the same

Discharges to fresh surface water

0

Discharges to brackish surface water/seawater

0

Discharges to groundwater

0

Discharges to third party destinations

67.09

Total water consumption at this facility (megaliters/year)

16.77

Comparison of total consumption with previous reporting year

About the same

Please explain

・位置座標について →近接する2工場の集合体である。 ・集約方法は会社単位（全2工場） ・座標は本社工場の座標である。 ・水ストレス値の判断 Aqueductの2020/06/01時点での現時点での水ストレス「Baseline water stress」Midium以上とする ・当社の考える前年比較時の閾値 →-30%以上：はるかに少ない →-5%以上～-30%未満：少ない → ±5%未満 ほぼ同じ → 5%以上～30%未満：多い → 30%以上：はるかに多い ・水源：市水、工水（地方自治体及びそのサプライヤーより購入） ・第三者の排水先：下水道 ・水の消費量 生産工程（冷却）と生活用水に使用 計算により取水量—排水量で算出

W5.1a

(W5.1a) For the facilities referenced in W5.1, what proportion of water accounting data has been externally verified?

Water withdrawals – total volumes

% verified

76-100

What standard and methodology was used?

請求書や水道メーターに基づく検針値

Water withdrawals – volume by source

% verified

76-100

What standard and methodology was used?

請求書や水道メーターに基づく検針値

Water withdrawals – quality

% verified

76-100

What standard and methodology was used?

取水の質を確認するのは、川および地下水を用いる拠点である。(施設1 DNX-T) こちらに関しては常時監視で質を管理している。上水完備の拠点については水質管理は必要としていない

Water discharges – total volumes

% verified

76-100

What standard and methodology was used?

請求書や水道メーターに基づく検針値

Water discharges – volume by destination

% verified

76-100

What standard and methodology was used?

請求書や水道メーターに基づく検針値

Water discharges – volume by treatment method

% verified

76-100

What standard and methodology was used?

請求書や水道メーターに基づく検針値

Water discharge quality – quality by standard effluent parameters

% verified

76-100

What standard and methodology was used?

・外部業者による排液の測定結果(計量証明書に基づく)

Water discharge quality – temperature

% verified

1-25

What standard and methodology was used?

当社の排水温度はほぼ常温であり 測定を必要としない。社内で実測

Water consumption – total volume

% verified

51-75

What standard and methodology was used?

Technical Noteに従う。屋根散水使用量や冷却塔からの蒸発した量とする

Water recycled/reused

% verified

26-50

What standard and methodology was used?

設備導入時の始動時の実測データより算出

W6. Governance

W6.1

(W6.1) Does your organization have a water policy?

Yes, we have a documented water policy that is publicly available

W6.1a

(W6.1a) Select the options that best describe the scope and content of your water policy.

| | Scope | Content | Please explain |
|-------|--------------|---|---------------------|
| Row 1 | Company-wide | Recognition of environmental linkages, for example, due to climate change | ISO140001の環境方針として作成 |

W6.2

(W6.2) Is there board level oversight of water-related issues within your organization?

Yes

W6.2a

(W6.2a) Identify the position(s) (do not include any names) of the individual(s) on the board with responsibility for water-related issues.

| Position of individual | Please explain |
|------------------------|---|
| Director on board | 役職：全社環境統括責任者 1. 位置づけ・取締役・環境保全活動推進の最高責任者・環境保全活動推進の最高審議機関「EGC委員会」の議長 2. 責任の内容、モニタリング方法・水および気候変動問題を含む環境保全活動推進トップ。・環境事務局より次の報告を受ける → 環境目標の進捗報告（毎月）→ 法令、顧客要求、その他のニーズなどの環境情報（毎月）→ マネジメントレビューでのインプット項目について報告（半年に1回）・入手した必要な情報について判断を行い、重大さに応じ、取締役会、経営会議、EGC委員会で議題提出する・経営層（取締役）と執行役員の立場から、全社の環境活動の方針を定め、取締役会、企業の戦略の情報から 想定しうる「リスクと機会」の情報など適切な情報を環境事務局へ 与え、指示を行う・水および気候変動問題を含む環境情報の外部公開を判断・環境目標の設定、計画の進捗、法遵守状況の管理（毎月）・環境に関連する全社の「リスクと機会」を決定する・環境マネジメントシステムの有効性、妥当性を判断 3.水及び気候関連の決定事例：・関連会社推進担当者を集めての環境部会制度開始 2016年～・全社環境事務局による関連会社の管理体制監査開始 2018年～・TCFD対応、シナリオ分析の実施 2018年～・SDGsへの対応、情報開示の強化 2019年～ |
| Board-level committee | EGC委員会について 1. 委員会の位置づけ・EGC委員会は当社の全社の環境保全活動を審議推進する最高機関。ISO14001の仕組みにて規定。・構成メンバーはCEO、全社環境統括管理者、全社環境担当責任者、執行役員、監査役からなる。・取締役会のうち主要メンバーである社内取締役全員が含まれているため、取締役会に非常に近い側面を持つ 2. 責任の内容・EGC委員会は当社グループの環境マネジメントのため次の4項について審議を行う。 1) 環境目標、 2) 事業上のリスク及び機会 3) 周囲の状況や社会環境、利害関係者の要求の変化 4) その他都度提出された議題 ※気候関連問題は環境マネジメントシステムにて解決すべき課題の一つとして、削減目標を定め、その進捗を管理、対策を実施している。 3. モニタリング方法・EGC委員会：半年に1回開催 4. 気候関連の決定事例：・拠点の移転決定（洪水リスク対応）2018年～ |

W6.2b

(W6.2b) Provide further details on the board's oversight of water-related issues.

| | Frequency that water-related issues are a scheduled agenda item | Governance mechanisms into which water-related issues are integrated | Please explain |
|-------|---|---|---|
| Row 1 | Scheduled - some meetings | Monitoring implementation and performance Reviewing and guiding major plans of action Reviewing and guiding risk management policies Reviewing and guiding strategy Reviewing and guiding corporate responsibility strategy | ・水使用量、法遵守状況に対処するための目標と進捗水など指標については毎月の取締役会の報告事項となっている 水など目標値の見直しや目標の設定については、原則 社内取締役全メンバーの出席するEGC委員会内での議題となることが多い・リスク管理方針の審査と指導 自然災害対策等BCM関連項目については、適時議題となっている |

W6.3

(W6.3) Provide the highest management-level position(s) or committee(s) with responsibility for water-related issues (do not include the names of individuals).

Name of the position(s) and/or committee(s)

Other C-Suite Officer, please specify (全社環境統括責任者（取締役）役割についてはW6.2aを参照下さい)

Responsibility

Both assessing and managing water-related risks and opportunities

Frequency of reporting to the board on water-related issues

Half-yearly

Please explain

当社の特徴として、社内取締役は執行役を兼務しているため、体制としてはW6.2aの通りとなる。当社の製品群は1つの分野に特化しているため、製造拠点毎のリスクは立地によるものを除くと共通しており、主だった水に関するリスクは次の2つとなる ①自然災害による物理リスク ②環境規制や地域のニーズに対応するためのリスク ①に関しては取締役会や上位経営会議で取り扱われる ②についてはEGC委員会で取り扱われる 複数のプロセスが存在して個々に評価を行っていることから そこで経営層と環境事務局がシンプルに共通認識を持ち水リスクに対処するための工夫として 全社環境統括責任者にすべての情報を集約し、最終判断を行う仕組みを採用している

1. 委員会の位置づけ EGC委員会は当社の全社の環境保全活動を審議推進する最高機関として、ISO14001の仕組みの中で規定されている委員はCEO、取締役、執行役員、監査役から構成されている。気候関連問題は「EGC委員会」がその責任を負う。 2. 責任の内容 EGC委員会は当社グループの環境マネジメントのための4項について審議を行う責任を持つ。 1) 環境目標、 2) 事業上のリスク及び機会 3) 周囲の状況や社会環境、利害関係者の要求の変化 4) その他都度提出された議題 気候関連問題は環境マネジメントシステムにて解決すべき課題の一つとして、削減目標を定め、その進捗を管理、対策を実施している。 3. モニタリング方法 EGC委員会は半年に1回開催しているが、環境指標は毎月の役員会で把握し、モニタリングを行っている。臨時の対応が必要な場合は、全社環境統括管理者は臨時のEGC委員会を開き対応する仕組みとなっている。

W6.4

(W6.4) Do you provide incentives to C-suite employees or board members for the management of water-related issues?

| | Provide incentives for management of water-related issues | Comment |
|-------|---|---------|
| Row 1 | No, not currently but we plan to introduce them in the next two years | |

W6.5

(W6.5) Do you engage in activities that could either directly or indirectly influence public policy on water through any of the following?

No

W6.6

(W6.6) Did your organization include information about its response to water-related risks in its most recent mainstream financial report?

Yes (you may attach the report - this is optional)

エクセディ 有価証券報告書20200626.pdf

W7. Business strategy

W7.1

(W7.1) Are water-related issues integrated into any aspects of your long-term strategic business plan, and if so how?

| | Are water-related issues integrated? | Long-term time horizon (years) | Please explain |
|---|--|--------------------------------|--|
| Long-term business objectives | Yes, water-related issues are integrated | 16-20 | 当社は経営方針に「よき企業市民」であることを掲げ、CO2の削減だけでなく環境負荷全般の削減に努めている。水問題についても、気候変動による影響が懸念されており、Aqueductによる分析によると2040年での水ストレスは現時点では水ストレスの低い、もしくは中程度の中国や東南アジアの拠点が極めて高いと評価されている。従来の水質汚濁だけでなく、水不足への対応は「よき企業市民」として必要だと考えています。水問題については地域性が強いいため、水不足や水質に伴う操業への影響を評価しいンパクトの大きな地域から冷却水のクロードシステムの導入など高効率化設備、リサイクルシステムの導入を推進し、改善を継続します。 |
| Strategy for achieving long-term objectives | Yes, water-related issues are integrated | 21-30 | 2050年、世界の人口は91億、水の需要は現在より55%増加、その影響で水不足に悩まされる人は全人口の40%に達すると言われてます。気候変動問題と同様に水問題に対してもすぐに対処できるわけではないと考えており、長期的な目標を掲げた活動が必要だと考えています。当社の生産拠点でも洗浄や設備の冷却に水を使用しています。そのため、水環境へのインパクトを少しでも減らさなければならないと考えています。水量の削減は省資源だけでなく、コスト削減の観点からも重要であり、効率利用、排水のリサイクルを推進しています。 |
| Financial planning | Yes, water-related issues are integrated | 5-10 | 水資源の効率利用に向けた冷却システムや排水リサイクル設備の導入にはコストがかかります。特に排水のリサイクルについては最もコストがかかります。当社では中国など、地域行政からの規制強化などのリスク評価を行い、リスクの高い拠点から排水処理設備の拡充などの対策を順次、検討、実施しています。また洪水のリスクに関してはBCMの観点から、1拠点の移転を実施しています。 |

W7.2

(W7.2) What is the trend in your organization's water-related capital expenditure (CAPEX) and operating expenditure (OPEX) for the reporting year, and the anticipated trend for the next reporting year?

Row 1

Water-related CAPEX (+/- % change)

1.7

Anticipated forward trend for CAPEX (+/- % change)

9.65

Water-related OPEX (+/- % change)

0

Anticipated forward trend for OPEX (+/- % change)

0

Please explain

2019年度は洪水対応としてリスクの高い拠点の移転に着手している 設備投資費 2018年度295億、2019年度228億、2020年度250億（予測）2019年度は拠点移転費5.01億を水関連設備投資費に計上する。水関連の操業費、次年度の操業費は大きな変更予定はなく、ほぼ同等のため0とする

W7.3

(W7.3) Does your organization use climate-related scenario analysis to inform its business strategy?

| | Use of climate-related scenario analysis | Comment |
|-------|--|---------|
| Row 1 | Yes | |

W7.3a

(W7.3a) Has your organization identified any water-related outcomes from your climate-related scenario analysis?

Yes

W7.3b

(W7.3b) What water-related outcomes were identified from the use of climate-related scenario analysis, and what was your organization's response?

| | Climate-related scenarios and models applied | Description of possible water-related outcomes | Company response to possible water-related outcomes |
|-------|--|---|--|
| Row 1 | Other, please specify (WRI "The Aqueduct Global Flood Analyser", 環境省「気候変動の観測・予測および影響評価総合レポート」) | 異常気象の激甚化：集中豪雨頻度 現在 発生確率0.3回/年（日本）⇒ 4℃シナリオにて 2100年頃 0.6回/年 | 集中豪雨にて、操業停止リスクの高い淀川流域の拠点がある。ハザードマップによるリスク評価の結果・洪水によって想定される浸水深 3～5m（想定最大規模）・地形からわかる災害リスク：旧河道・数年以内に被害にあう可能性が高いこのリスクに対応するためには、リスクの移転として、"生産拠点移転"を進めている。2018年より着手し2020年度移転完了予定である 2019年度の連結設備投資費用：228億 生産拠点移転費用：5億（用地取得費用は固定資産のため除外） |

W7.4

(W7.4) Does your company use an internal price on water?

Row 1

Does your company use an internal price on water?

No, but we are currently exploring water valuation practices

Please explain

当社の部品は金属の加工、組立が主流のため、水の使用量は少なく、現状はウォータープライシングは検討していないが、取り巻く周囲の状況や要請があった場合どう対応するかについては調査を行い、必要に応じて対応できる体制づくりを努めている

W8. Targets

W8.1

(W8.1) Describe your approach to setting and monitoring water-related targets and/or goals.

| | Levels for targets and/or goals | Monitoring at corporate level | Approach to setting and monitoring targets and/or goals |
|-------|---------------------------------|--|--|
| Row 1 | Company-wide targets and goals | Targets are monitored at the corporate level | <目標の設定> 目的・公害の未然防止・水の使用量削減 目標・行政指導による緊急事態ゼロ・水の使用量を前年度同量とする（0%削減）<モニタリング方法> 各拠点より月1回環境報告集約、使用量、緊急事態の発生有無を確認 |

W8.1a

(W8.1a) Provide details of your water targets that are monitored at the corporate level, and the progress made.

Target reference number

Target 1

Category of target

Water withdrawals

Level

Company-wide

Primary motivation

Cost savings

Description of target

水の使用量を前年度同量とする（0%削減）

Quantitative metric

% reduction in total water withdrawals

Baseline year

2018

Start year

2019

Target year

2020

% of target achieved

100

Please explain

目標の達成度は、目標を毎年前年度比で設定しているため、100%とする

Target reference number

Target 2

Category of target

Water pollution reduction

Level

Company-wide

Primary motivation

Reduced environmental impact

Description of target

行政指導による緊急事態発生件数（処罰、罰金等を伴うもの）：ゼロ

Quantitative metric

Other, please specify (排出規制値を超える排出を行った件数)

Baseline year

2018

Start year

2019

Target year

2020

% of target achieved

100

Please explain

目標の達成度は、目標を毎年前年度比で設定しているため、100%とする

W9. Verification

W9.1

(W9.1) Do you verify any other water information reported in your CDP disclosure (not already covered by W5.1a)?

No, but we are actively considering verifying within the next two years

W10. Sign off

W-FI

(W-FI) Use this field to provide any additional information or context that you feel is relevant to your organization's response. Please note that this field is optional and is not scored.

W10.1

(W10.1) Provide details for the person that has signed off (approved) your CDP water response.

| | Job title | Corresponding job category |
|-------|---|----------------------------|
| Row 1 | 役職：全社環境統括責任者 1. 位置づけ・取締役・環境保全活動推進の最高責任者 | Director on board |

W10.2

(W10.2) Please indicate whether your organization agrees for CDP to transfer your publicly disclosed data on your impact and risk response strategies to the CEO Water Mandate's Water Action Hub [applies only to W2.1a (response to impacts), W4.2 and W4.2a (response to risks)].

No

SW. Supply chain module

SW0.1

(SW0.1) What is your organization's annual revenue for the reporting period?

| | Annual revenue |
|-------|----------------|
| Row 1 | 263899000 |

SW0.2

(SW0.2) Do you have an ISIN for your organization that you are willing to share with CDP?

No

SW1.1

(SW1.1) Could any of your facilities reported in W5.1 have an impact on a requesting CDP supply chain member?

Yes, CDP supply chain members buy goods or services from facilities listed in W5.1

SW1.1a

(SW1.1a) Indicate which of the facilities referenced in W5.1 could impact a requesting CDP supply chain member.

Facility reference number

Facility 2

Facility name

EXD-M

Requesting member

Honda Motor Co., Ltd.

Description of potential impact on member

都市型洪水に伴う工場浸水のリスクがあります。

Comment

Facility reference number

Facility 2

Facility name

EXD-M

Requesting member

Nissan Motor Co., Ltd.

Description of potential impact on member

都市型洪水に伴う工場浸水のリスクがあります。

Comment

Facility reference number

Facility 3

Facility name

EXK

Requesting member

Nissan Motor Co., Ltd.

Description of potential impact on member

洪水リスクがあります

Comment

Facility reference number

Facility 2

Facility name

EXD-M

Requesting member

Toyota Motor Corporation

Description of potential impact on member

都市型洪水に伴う工場浸水のリスクがあります。

Comment

Facility reference number

Facility 4

Facility name

EFM

Requesting member

Honda Motor Co., Ltd.

Description of potential impact on member

洪水リスクがあります

Comment

Facility reference number

Facility 5

Facility name

EXT

Requesting member

Honda Motor Co., Ltd.

Description of potential impact on member

洪水リスクがあります

Comment

Facility reference number

Facility 5

Facility name

EXT

Requesting member

Nissan Motor Co., Ltd.

Description of potential impact on member

洪水リスクがあります

Comment

SW1.2

(SW1.2) Are you able to provide geolocation data for your facilities?

| | Are you able to provide geolocation data for your facilities? | Comment |
|-------|---|---------|
| Row 1 | Yes, for all facilities | |

SW1.2a

(SW1.2a) Please provide all available geolocation data for your facilities.

| Identifier | Latitude | Longitude | Comment |
|------------|-----------|------------|---------|
| 施設 2 EXD-M | 34.753941 | 135.623821 | |
| 施設 3 EXK | 34.737145 | 135.82006 | |
| 施設 4 EFM | 13.428201 | 101.030467 | |
| 施設 5 EXT | 13.356585 | 101.007602 | |

SW2.1

(SW2.1) Please propose any mutually beneficial water-related projects you could collaborate on with specific CDP supply chain members.

SW2.2

(SW2.2) Have any water projects been implemented due to CDP supply chain member engagement?

No

SW3.1

(SW3.1) Provide any available water intensity values for your organization's products or services.

Submit your response

In which language are you submitting your response?

Japanese

Please confirm how your response should be handled by CDP

| | I am submitting to | Public or Non-Public Submission | Are you ready to submit the additional Supply Chain Questions? |
|-----------------------------|------------------------|---------------------------------|--|
| I am submitting my response | Investors Customers | Non-public | Yes, submit Supply Chain Questions now |

Please confirm below

I have read and accept the applicable Terms